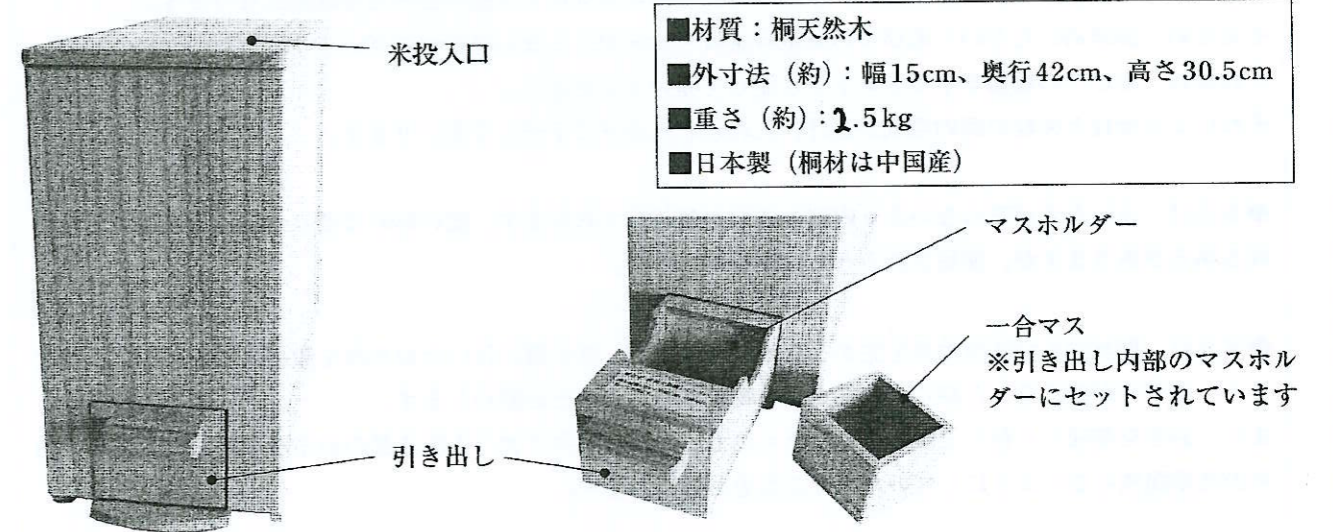


第63回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和7年度)

出品区分	1 企業の部 ・ 2 一般の部		受付番号	2
ふりがな	こめびつ			
作品の名称	米櫃			
ふりがな	たけもとまぼこてん	ふりがな	たけとりきお	
会社名	竹本木箱店	発明者名	竹本力雄	他 名
出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願	出願番号	特許・実用・意匠	— 年 月 日
	<input type="checkbox"/> 出願済	公開番号	特許公開	— 年 月 日
		登録番号	特許・実用・意匠	第6442579号 特30年11月30日
特徴と要点 (必ずご記入下さい)				
この米櫃は、米を蓄える漏斗状のホッパーと手動で前後に出し入れする引き出しと計量升とを備え、計量升は引き出しに取り出し可能に載置してあり引き出し後退時にホッパーの流出口に連通し、ホッパー流出口の前面には弾性部材からなる均し板を配設し、引き出しを前方に引き出す際に均し板により計量升上面の米が擦れ切り、定量の米を計量升ごと取り出すことができ、引き出しの底面には引き出しに計量升が載置されていない場合に引き出しの後退を不可能にする誤動作防止機能を備えていることを特徴とする。				
引き出しを前進限まで引き出す事により、一合の米で満たされた計量升が取り出し可能となり、ちょうど一合の米が正確に計り取られている事が一目瞭然である。この為、米の量が一合未満であった等の理由で正常に計量がされなかった場合には異常に気付く事ができ、実用性に優れている。また、一部を除いて全ての部品が桐板から成り釘や木ねじ等の金具を使用せずに接着により組み立てられている。				
そのため、桐の持つ優れた調湿作用および防虫作用により、米の品質劣化を大幅に抑制でき、プラスチックや金属製の米櫃と比較すると米を食味よく保存できる期間は長く延びる。				

総桐計量米びつ 取扱説明書

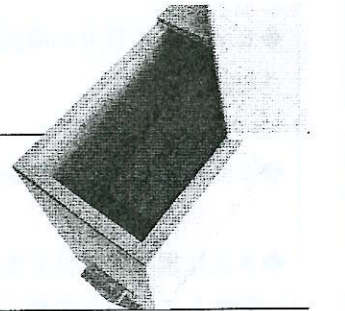
この度は総桐計量米びつをお求めいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願いいたします。



ご使用方法

お米を入れる

本体上部の米投入口のフタを外して、お米を投入してください。

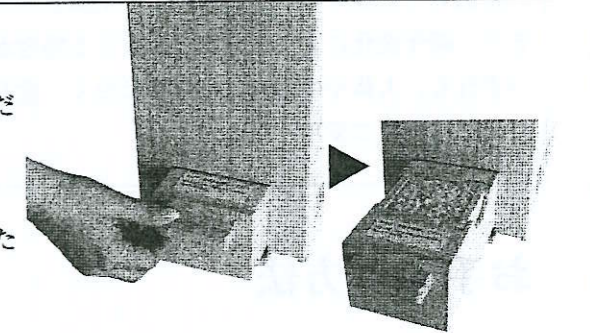


お米を計量する

引き出しを手前に止まるまで優しくゆっくりと引き出してください。一合マスにお米が入った状態で出てきます。

(一合：約150gが計量されています)

※引き出しを強く引くと米粒が飛び、正しく計量されなかったり、故障の原因となります。



お米を取り出す

一合マスを取り出し、釜や鍋など容器にお米を移してください。空になった一合マスをホルダーに戻し、引き出しを優しく押し込んでください。

※一合マスがホルダーにセットされていない状態では、引き出しを押し込むことができないよう設計されています。

